

社会福祉法人 ミッドナイトミッションのぞみ会

たり支援し祈り続けてくださった多くの後援

2013/4/1 No. 62

ミッドナイトミッションのぞみ会 発行者:社会福祉法人

部:〒293-0023 千葉県富津市川名1436番地

ミッド

ナイトミッションのぞみ会は昨年創

を会場に「望みの門創立五〇周年記念感謝会」 立五○周年を迎え、六月二○日に富津公民館

を挙行致しました。

そして副題として

過去

ともできないでしょう。

まことに彼女たちとその背後にあって常に

せんでした。そのことを私たちは深く心に留

リスト者なくして望みの門の働きはあり得ま

BKミッション及びそれに連なるドイツのキ 精神的また経済的な援助を惜しまなかったM

あります。

に感謝し未来を拓く」との言葉を加えたので

理 事 長

担当職員の方々。 商店及び近隣の皆様。 利用者の方々。 導してくださった国、 の市長始め職員の方々、そして地元の業者や な便宜をはかってくださった富津市及び代々 当初から今日に至るまでの歴代の職員、 て深甚なる感謝の念を抱いております。 この副題の如く私は今多くの関係者に対し 当法人の精神を支持し、 望みの門のために長年にわ 千葉県、 私共の事業を補助し指 東京都とその 様 また 創立 Þ

富世

す。 して異国の地で助けを求めている人々のため の門の事業は彼女たちが始めたものです。 の方々の存在とその働きです。 でまいりたいと思います。 めにどれ程苦労されたか私たちは想像するこ に福祉の事業をゼロから始め、 もう一つ忘れてはならないことがあ それはドイツから派遣されてきた宣教師 そもそも望み 進めていくた り

そ

られるようにと願っております。 催します。 ことになりました。職員や後援会員からなる 集まり頂き、 やミッションの代表者の方々にはケルンにお 日 めたいと思います。 行八名で私もその中に加わります。 まで宣教師の方々に感謝する旅に出掛ける そのことをおぼえて来る五月七日から十六 私たちの感謝の気持を十分に伝え そこで感謝と御礼を述べる会を 宣教師

変わることのない祈りと支援を賜りますよう 精神を生かし、先人達が築いたものを受け継 く」歩みに踏み出します。 心からお願 このことを成し終えて私たちは さらに発展させていくために、 い申し上げます。 望みの門が初めの 「未来を拓 今後とも

運営を責任をもって担ってくださった理事、 とを心に刻みつつ職員と共にこれからも励 ここまで歩んでこれたのであります。 会員やボランティアの方々。 多くの人々の協力と支えがあって望みの門は 評議員の皆様。 その他数え切れない程 さらに当法人の このこ

# 「常務理事室から」

#### 井本 義孝

を遂行しています。 管理者がおかれていて、 立四○周年当時に比べ約二・五倍の二五○名 欠かせません。事業の拡大に伴う職員数は創 業運営には必要不可欠な的確な判断、 であれば現場の工場長の役割です。 となりました。 に伴い職員も大幅に増えました。円滑なる事 ご存知のように一 理事長業務を代行します。言うならば会社 務理事は理事長を補佐し、時には定款に従 事会のもとにあり、 施設には施設長、 増設、 しかし個々の組織は法人 年前から二名体制です。 理事長が総覧します。 夫々が独立的に事業 受託事業の増加等 事業所には 決断が

ば は常務理事が代行します。 な指示が必要です。 を必要とします。 しています。 の責任者です。 のマンネリ化を打破するためです。 にはない突込んだ話し合いになります。 万が一の場合は不安定ですが二人おれば、 運営会議の後二、三の施設長を交えて、 互いに即応することができます。 現場は常に変化し流動的です。迅速に対応 忌憚なく意見交換、 が理事長判断が必要な場合 いついかなる状態でも適切 のぞみ会では施設長が現 一人の場合であれ 提案等会 第三月曜 新年 懇 度 み

内容は必要に応じて公表してまいります。 から新たなスタイルを考えております。話題、

# 出国以目のション国際別の

äum vom "Torzur Hoffnung", darunter (4.von rechts sitzend) und Pastor Kishita, Pastor limoto, geschäftsführender Vorstand Freunde, Volonfäre und Gäste beim Jubil Vorstandvorsitzender (5.von rechts sitzend) Einige Mitarbeiterinnen und Mitarbeiter

#### 日本における 社会福祉法人「望みの門」五〇周年 九一二年六月十六日から ーシェーア・グドゥルンの旅行記 二十一日までの訪日

が挨拶され、 葉教会と望みの門からのお迎えの方々にお会 次回いらっしゃる時には…」と教会の代表者 十七日の午前、 ありませんでした。 協 の門の常務理事井本牧師は、 した時には鮮明となりました。 それは別れの挨拶を告げるための訪問では 「今回は残念ながら数日のご滞在ですが、 力関係を視野 彼女の計画を話されました。 成田空港に到着した時、 に入れた話し合いを持ち そのことは遅くとも六月 翌日に今後 西千 望

の四重苦

(地震・

も今回

が経ちました。

しました。 設を持つまでに成長 動する十七の福祉施 数二五〇余名と多く 会は、 招待でした。 人ミッドナイトミッ 行われる社会福祉法 た時から、  $\mathbb{H}$ ションのぞみ会の五  $\exists$ ました。この短い訪 御発言で私を驚かせ いただきたいという た のボランティアが活 ○周年記念式典への 望みの門学園」 二年六月二 九六二年六月十五 いの 日早く富津に来て 正式にオープンし のきっかけは二 婦人保護施設 で、 現在職員 予定より のぞみ 一十日に が



望

上回っているのです。と回っているのがについても知りたいと思っていまた、測定される放射線量は千葉でも境界値をした。福島から二○○キロ離れているとはいているのかについても知りたいと思っていま葉の人々がその災害の影響をどのくらい受け

を実感したのです。 とはなかったのでした。 れらのことを思い っかり根を下ろすため、 びの再会をしました。 できました。 まで務めていた西千葉教会を訪問すること ずは短時間ですが、 の夜に猛烈な台風で私はこの国に起こる 夕の礼拝では教会員の方々と 出 Ų ここ三年はドイツに 初日の夜に地震、 私が二〇〇八年九 日本へ旅行するこ 今日本にいること =

えを述べられました。 いて思いを馳せてはい に汚染されたお米を食べていることなどに 車に乗ったところで水田が目に留まりまし の最終処分地は千葉にもできるだろうと考 望みの門でも何年か前から稲作をしてい 、曜日になって富津に向けて一 私のほ 「のぞみ米」つまり「希望を持ったお米」 井本牧師は福島の放射能を含んだ瓦 はかには (車中では) ないようでした。 誰も、 時 間 放射 ほ لے تل

# 将来についてのアイデアを発展させる

は翻訳され富津にも伝えられていました。そMBKミッションの解散についての知らせ

す。 ツの 題が残されてはいますが。 もちろんそれには多くの法律的、 本側が先導しようとしています。 もさらに存在し続けるのです。 何十年にも渡って培われてきた関係は、 て新たな構想を持っていました。 ましたが、 のことは残念なこととして受け止めら の信仰により結ばれているドイツと日本の そこで福祉について学んでもらおうと。 興味のある若い人々に短期間日本に滞在 「同志に一つの展望を与えようとしていま |想を持っていました。つまり、神人々は既に今後の協力関係につい 今日では、 彼らがド 財政的な課 れ 今後 7 日 1 1) 口

0) というのはどういう意味なのかと訊ねられた 式典で歌われた 津市長とお話をする機会がありました。彼は、 もりです。 ○余名の参列者の前でそれについて述べたつ められます。式典での祝辞において私も五 なされているのかを明確に説明することが求 それぞれの仕事がどうキリスト教に基づいて 1) 、ます。 でした。 望みの門はキリスト教徒の職員を募集して ドイツからの訪問者や同志からも、 記念行事の第二部において私は富 「シオンの娘」 0 「シオン」  $\bigcirc$ 

ドーラ氏はMBKの宣教師として婦人保護施援について感謝の意を述べられました。木下に追いやられている人に対して行ってきた支姓ムンディンガーさんに対して、社会の片隅共業県議員は式典の中で木下ドーラ氏、旧

富津で始めました。設の職員や利用者の方々を招き、宣教活動をは日曜の朝に礼拝を行ってそこに婦人保護施設「学園」の最初の園長となりました。彼女

方々、 政的、 した。 ていました。 く知りたいという方と知り合うこともできま 人々との出会いをふりかえりました。 によって私と結ばれている、 での私の生活に寄り添ってくれる、 国しました。まる三日経って私は、 は、 私は満足と感謝の心を持ってドイ そして法人の初めの頃についてよりよ 望みの門で仕事ができると喜んでいる また祈り 法人の責任者の方々はドイツからの財 の全ての援助に対して感謝し 記憶の中にある また祈 ドイ また今 ツ ッ

# のぞみ会の新たな取り組み

# 常務理事 西尾 建

スタートいたします。 法人では、新年度新たに二つの新規事業を

## ◆訪問看護事業

# 望みの門訪問看護ステーション

にお住まいの利用者のお宅に訪問して医療処医療保険に基づき、主治医の指示の下で地域化に努めます。訪問看護事業では介護保険や今年度も継続して在宅福祉サービスの強

がると期待しています ケア、 ケアを受けられることは大きな安心感に繋 病状 高齢者にとって福祉と医療の 療養上のお世話、 の観察、 矢 療機器の管理、 相談支援等を行い 両 夕 面から 1 ーミナ

## ・児童家庭支援センター 望みの門ピーターパンの家

専門職が応じる事業を中心に行います。 どもの発達の悩み、 の支えのひとつになれるよう努めます。 の子育てなどに関する相談 児童養護施設望みの門かずさの里、 みの門方舟乳児園と連携を図りながら地域 児童家庭支援センターは、 学校生活での悩み等) (育児の悩み、 地域・家庭から 乳児院 子 に

SO推進委員会事務局参与 高橋 育三

はじめまして、

菊地

委員会事務局の高橋と 氏の後任でISO推進

話してみましょう。 ·します。 ISOについて少 Ι

規格ですが、 S 9 0 0 にものぼ ているそうです。 その認証 は品質管理の手法を定めた国 登録数は全世界で百万 ISO規格に 際 なものと誤解される。 すればISOは本来の仕事からはずれた余分

しかし、

そうではない

来る職員は一人もいません。

か これらの全てを守らなければならない。 は く考えて取り入れないと負担の大きい品質管 一の仕組みになりやすいのです。 に個々の項目は良いことばかりですが、 一三六個 の要求事項が含まれています たし が、 良

ます。 り が一 もできる。 ばかりです。 使えるようになっているために抽象的な表現 にはこんな条項が多いのです。 している? ぎて持っていると書棚が満杯になるのを心配 て定めたことになります。 でしょう? してはならない」と当り前に規定したらどう 棄することができるのでしょうか? 常に気配りをして期間を過ぎたら直ちに廃 る」と規定している企業が非常に多い。でも、 の保管期間と廃棄について定めよ」とありま 仕方の幅が広いということです。 ができるでしょう? 理解が難しい。 そもそも西欧生まれのISOは日本人に 旦そう決めれば廃棄しないと不適合にな 再発防止が要求されて益々深みにはまり それで「保管期間を過ぎた記録は廃棄す それでは、 たとえば、 それでも保管期間と廃棄につい しかし、 余計なお世話です。 おまけに、 「保管期間内の記録は廃棄 ISO規格には そのことは逆に運用 ISOは保管期間を過 これなら守ること あらゆる業種で だから、 重くも軽く ISO規格 ところ 記録 とも 0

なり、 非常に高いレベルにありますが、さらなるレ 知恵を出し合えば、 ベ のです。 れます。 ルアップを一緒に目指しましょう。 皆さんは業務に詳しい。 全世界で認められている効果が必ず現 当法人のISOは、 事務局は多少はISOに詳し 仕事そのものがISOと 皆さんの努力で だから、 両者で ()

#### 東京望みの門 写真の会 自立援助ホー マナの家

### 生活指導員 長崎

淑子

< 見 いにくの日になりましたが空模様とは関係な かけました。 今年の成人式の日は雨が降 巷ではあでやかな振袖姿の新成人を多く り 肌寒い

うかと、 出することは出来ないにしても、 迎えました。 ました。 付けをし、 あります。これを着て式典に参加する為に外 はとても難しいことです。 女達が、 日々の生活を維持して行くことがやっとの 幸いマナの家には三枚の振袖が寄付されて マナの家でも今年十名の退寮生が成人式を ここ数年職員の間で話題に上って レンタルであっても振袖を着ること とは言っても着付けを習っ 写真を撮るだけでも出来ないだろ 親からの支援もなく、退寮して 寮の中で着 彼

そんな職

望

二月十一日二 方を練習して ルに帯の結び ティアの Tさ た調理ボラン ッグをモデ 思いを知 人やゴルフ が着付けの 越しにその ださって、

一画を実行することが出来たのです。

笑えないかも知れないです。」とメールして 沈んでいるから、 その年は過ぎていても振袖を着たい たご主人を呼び庭で記念撮影。 たうえで、 りを持ち寄り、 のAさんはその朝、 相手の御両親に事情を理解し受け入れて頂 それぞれ自宅より着物をはじめ小物類や髪 参加者が好みのものを選べるように、 着付けが終わるころには笑顔が戻ってい 外で時間をつぶし待っていてもらっ 大勢の参加を待ちました。 少し遅れたものの彼に送られて 月の誕生日に入籍した二十二 折角写真撮ってもらうのに 今年成人の人ばかりでなく 「彼と喧嘩して気分が 人には声 職員

ばと願っています。

保護施設

0 写真を是非にと望んでおられたので本当 のご両親も、 結婚式の写真がないので和

ありませんでした。 度誘いの電話をしてもはっきりとした返事は 一十四歳のBさんにはこの計画を知らせ、 面緘黙という心理 0 所見が出てい る 何

持ちを言葉にできなくとも着たかったのだな という思いが伝わりました。 アップし薄化粧をして待っており、 長い間仕事が決まらず友人宅を転々として しかし当日職員が車で迎えに行くと髪を 自分の気

た。 たが、 みの着物を選び、 同嬉しくなり、 は遅れずやって来てあれこれ迷いながらも好 来た末一念発起し、 トに自立できた二十歳のCさん。 仕事の都合などで今年は三名の参加でし つもは時間にルーズなのですが、 みんなの晴れやかな笑顔を見て職員 毎年この企画を続けていけれ 着付けて頂き満足そうでし ようやく昨年末にアパー その日

> 園での仕事にも慣 れてきました。

人だという認識が心の奥の方にあったように た。自分とはかけ離れている場所にあるもの、 だろうかと多くの疑問と不安を抱えていまし 感じます。 ろうか、 初めは、 保護されてくる人ってどんな人なの 婦人保護施設とはどんなところだ

野菜の栽培、収穫、 じなのだという気持ちになりました。 うちに、 からこそ、 いることがたくさんあるからです。 私自身が利用者さんに支えられ、 のだろうかと自問自答を繰り返しています。 できるのだろうか、 学園では様々な行事、イベントがあります。 しかし、 やっぱり人間って根本的 私は職員として利用者さんに何が 実際に利用者さんと関 どんな風に接するべきな プール、 励まされて なものは同 わっ そしてだ て

どと 感しました。そ する中で、 ス会、 旅行、 してまた、 との難しさを痛 さを提供するこ イベントに参加 じさせる様々な 新年会な 季節を感 この使い クリスマ 楽し



心理相談員

いもので一年。 縁あって働かせていただけることになり、 職員の方々に支えられ、 学 な時間

早

であり、

中には楽しみを見出すことのできない 重要性を実感しました。 学園の利用者さん 人も

ずっと生きている実感があるものです。 ごすのではなく、 せんでした。 のだということを今まで考えたことがありま 運動などをして過ごす方がずっと有意義で、 休日何をして過ごします 一時間ある自由の時間を、 それは娯楽なのかもしれません。 などという質問に答えられない人もいる 衣食住が満たされる先にあるも 手芸や、 栽培、読書、 か、 だらだら寝て過 趣味は何 掃除、 自分 で す

いるという実感があるのです。 向かい一生懸命になっているとき、 私もまた、 学園での仕事を与えられ、 生きて そこ

看を満喫

副施設長

小嶋

友子

るという安心感、 生きているという実感、 目標です。 それを提供するのが私の仕 誰かと繋がってい

づつ寒さも 入り、 頂いており 出を控えて 皆様には外 ました。 和らいでき ものの少し の差がある よって寒暖 ました。 三月 日に S) に



久農園へ十三名の利用者と共に行って来まし 年は三月六日(水)に車で一〇分程で着く白 ちご狩りに出かける計画を立てています。 を満喫してもらおうと、この時期に毎年い 出日和でした。 た。当日は風が少しあったもの暖かい日で外 今

いこうと思います。

ど食べられるものではなく、 がっていました。 と各々でおいしそうないちごをとって召し上大きさのいちごが実っておりどれにしようか 農園に着くと、 食べ放題と言ってもそれほ ハウスの中には大小様々な 十個くらい食

と言いハウスの外の休憩所で早々と座 る利用者もいました。 ゙もうお腹いっぱい その農園で飼

っている

がこぼれていました。 しいひと時を過ごせたようでした。 ウサギをその場で見られたりして自然と笑み 参加された皆さんは楽

かし、 えてもらおうということをしてきました。 外出行事の参加については自分から職員に伝 まったということがありました。 し自立してもらえないだろうかということで 楽生園は、 参加者は増えず以前よりも減ってし 元気な利用者もいるのでもう少

出し笑顔になれるようにサービスを提供し なっていきます。 援によって出来ることもあるので言葉かけし ながら行っていこうと思っています。 これからは外出するのに最も良い季節 自立支援の施設ではありますが、 一人でも多くの利用者が外 職 低員の支

## 特別養護老人ホーム て向き合う 望みの門紫苑荘

#### 副施設長 平野

生ってい 認 のお話です。 できるのかと悩んでいる時にある紙面と出会 いました。そこには、こう書かれていました。 めて介護とは、 知症の母親を自宅で看取った主婦 昨年十二月、 施設に勤めて今年で一〇年目を迎え、 施設はどうあるべきか 七歳のアルツハイマー

すらと白くなる事もあり、 土地は海が近い為か積もる事が少ないがうっ エンザなどの感染症の予防の為に利用者の ったことが伺えました。 今年の冬は、 雪が何度か降り富津という 冬の間は、 つもの年より寒 インフ ると

はありませんが、

本人だったらどう考える

こ家族と共に私達職員ができること……

屯

つでも願いを叶えてあげたい

先 日、

人は老年期を迎えた時に何を望むのか…。

望

家族にしかできないことは何なのか?認知症 たち職員は家族に代わって何ができるのか?

くなります。

人は昨日のことは忘れても昔の事は覚えて

思い出の引き出しをたくさん持っ 楽しいお話もしてくれます。

施設

て

・ます。

い」「でも無理だよね」との答えでした。私い」「家族と旅行に行きたい」「家族に会いた

ダンスをやっていたのでダンスを見に行きた

?」と尋ねると「お墓参りに行きたい」「昔

ばん行きたい所、

叶えたい事は何

だす

一今、いちばんやりたい事は何ですか?今、

利用者の方とお話をしている中で

だったと思えるよう慣れ てくれ願いが叶いました。 末、最後には「ここに来て幸せ」と何度も言っ し言う事ができました。二年七ヶ月の介護の が ました。これでよかったのかと悩みました 同居したおかげで母に「大好き」と繰り返 「母と過ごした時間は私の宝物です」 頃から苦労を重 ねた母に幸せ ない いろいろありまし 土地 訴え続けて に引き取り な人生

特別養護老人ホーム 望みの門富士見の里 鼢 者 の食事の人切さ

ではないかと、

気付きました。

であり、そのことが「人として向き合うこと」

何を望むかという視点で考える事

が 大切

#### 栄養士 安藤美和子

感じています。 ています。 ると思われます。 くなったりと、寒暖の差が一○度以上もあり、 三月には、 早いもので八カ月が経ちました。 利用者さんの体にはとても負担がかかってい 少し慣れてきたのかなと感じます。 んととっている方のほうが治りが早いと私は 施設でも風邪をひかれている方が多くなっ 立春とは名ばかりで急に暖かくなっ 富士見の里は、 そんな時でも、 満床近い人数になり、 そんな影響もあってか、こ 昨年七月から入居が始まり やはり食事をきち 入居者数も やっと私も たり寒

されることにもつながっ かりやすくなります。 欠なものであり、 て、 のリズムができ、 特に、 !性やバランスを保ち、 分泌が良くなり、 エネルギーやたんぱく質はもっとも不可 身体機能及び生活機能の維持にとっ 体内の消化酵素やホルモン 不足すると感染症などにか 神経の調節や臓器組織 また食べることで生活 規則的 て病気に対する抵抗 にな便通り が保持 0

に居るからできない・行けない・叶えられな

.」そんな諦めを利用者、家族は、感じて日

R

を過ごしているのかもしれません。

ます。 力もつ てくると思

ます。 過ごす中で、 事を取ることはQOL てバランスの取れた食 フ=生活の質) (クオリティオブライ 何気な 十分な睡眠、 1, 日 常生活を 適度な運 を高め そし

食事は、 健 康になる

む利用者さん同士の笑顔で雰囲気がとても良 素材や栄養、 せん。 スをするスタッフの笑顔、 欲を誘う香り、 為にとても必要ですが食べなくては始まりま 大切なことがあると考えています。 食べてもらうための食事にはいろいろ おいしさはもちろんのこと、 和やかな会話、そしてサー またテーブルを囲 お食事の

やす くない、 状の食事や誰もがおいしいと感じるような味 しまわないように、 染を受けやすくなるとい 力してまいります。 付けに近づけるように、 食べていただけるように、 厨房では、 いものを提供できるよう厨 食べないの 食事の 出来るだけおいしく食べ で体力が落ちて病気の感 おいしくなければ食べた 面だけでも、 みんなで話し合い った悪循環になって その方に合った形 出 職員 一来るだけ

お願いいたします。

可張っていきますので、これからもよろしく

# 「はじめまして」・パーピスセンター

だ 護員河瀬

剛

て、空が綺麗で、富士中旬より望みの門デイ中旬より望みの門デイサービスセンターにてサービスす。

中一ビスの送迎時に、「富士山が見えるか?」 生葉県船橋市出身、趣味はギターと野菜作り、望みの門職員宿舎在住、寂しがり屋の為動物が大好き、歌と踊りの好きな四十歳独身。 一千葉県船橋市出身、趣味はギターと野菜作り、望みの門職員宿舎在住、寂しがり屋の為 がで乗しんでいただくためには何が必要 に喜んで楽しんでいただくためには何が必要 か?を考えております。

ることは何か?自分にはどのように充実向 ログラムの充実、誠実、 それには、言葉遣い、 あると思います。 入浴時の応対、 ご家族との連携、 その中で、 思いや 普段出来ない行事の 'n 自分に出来  $\exists$ Þ など 0 プ

真を撮る。

初めての試み写真との挑戦でもあ

ます。

こ利用者様や職場の皆さんに色々と教えて頂きながら、濃厚なイメージになれるように頂きながら、濃厚なイメージになれるように頂きながら、濃厚なイメージになれるようにであります。

# 流木と私の出会い」海がらの贈り物

利用者 今井 杉子

走る。 と消える物でも老い行く我が身と重ね合う思 流木と私の出会いを用意していたのか?藻屑 着いた椰子の実ではないが、 らない。偶然無意識に埋もれた流木を救い出して何故持ち帰ったかと問われると良く分か れた流木を見て掘り出し持ち帰る。 た流木を目で追う、あの時砂に半分程埋も れ 木に美的表現を作品の中に自然空間をゆっ に囁き掛ける。 したい衝動に駆られたのかも知れない。 らと波間の疲れを癒すため他 がふと脳裏をよぎる複雑な淋しさが全身を ·富津住民となりハイムの生活が始まる。 九月の感謝祭に作品を依頼され砂浜で拾 富津の砂浜で打ち寄せる波間に一歩踏み 老いとはそうしたものかと思わず流 もう一度蘇らせてあげたい 見えない何かが 面から何枚も写 そこま 流 た 流 木 れ で

Ħ

覚めの流木は生き生きと蘇

ŋ

まどろみのなかに

一輪の花を添えて

穏やかに

穏やかに

様々な表情を見せ私に問い掛

ける

大会に観て頂き感謝致します。で成し心もとないが出展ます。が大下さり、多くの皆様ます。が大下さり、多くの皆様ます。がとが<t

りまった。 しく並んでいます。 した流木それぞれ誇ら した流木それぞれ誇らす。パネルに十数枚の

流木は花の香りに包まれながら癒してあげたい 一輪の花を添えて癒してあげたい 一輪の花を添えて



せ

利用と共に感じ、

共に歩む中から前

へ前へと

始めているようです。 きたいと思う脳裏の片 素晴らし 私 の窓辺から紫苑 い作品を観 戯せて頂 隅で何やら絵筆が 一荘の夕焼けを何時 気き感動 致 ĺ 動 か ま 描 Ū

## 共に学び、 望みの門新生舎 共に歩む

職業支援員 前澤 美希

共に来るのは新生舎~♪」新生舎の一 りです。 自 立の歌を唄 ハイ!」「今日も元気にマイクロで~ いましょう、 イチ、 日 1の始

ら夕方までの限られている時間の中でどれだ 0 利用者の皆さんや職員の方々に支えられ います。 瞬のように過ぎた一年でした。 生舎での私の社会生活が始まりました。 利用者と関わることができるかが勝負だと が少ないのがちょっぴり残念なこと。 私が感じたことは利用者との 作業ももちろん初体験が多く振り返 ゴ狩りから始まった行事はバザーにサマ 自身の新たなスタートを胸にここ望みの門 『が舞降る福島から千葉へ来て早) だったように思います。 何も分からない私でしたが新生舎 運動会、 ひとつずつできることが増え また様々な作品展。 利用者が 関われる時 通所施設 年。 朝か n 元気 日 ば 々 1 1 自

に思 のが事実の様 との方が多い られているこ なら! 笑顔でさよう 者の皆に助け 掛けています うな支援を心 繋げられるよ 張 出 心います。 逆に利用 勤 たねと 萌 行日に 日

生舎 昨 年度、 から一 般 新

でギュウギュウに詰まった濃い 題だと感じます。 に関わることができるかが私自身の今後の課 に私がどのように支援するべきか、 知ることができました。 課題などに直面し、 会での厳しさや本人自身に求められる新たな とになりました。 しさや就労を支援することの難しさを改めて 企業に就職した男性が十一月に再利用するこ た。 るよう日々成長したいと考えます。 来年、 再来年、 就労させた喜びの反面、 様々な想いと初めての経験 就労を継続することの難 そしてその先まで活 今ここにいる利用者 年となりま どのよう まずは 社 か

> 進みたいと思い 緒に頑張るぞぉ~ ・ます。 今 Ħ も利用者みんなと

## 共同生活介護・援助事業 グレースホーム グレースホーム」の 年

今年度も、 あと半月で終わろうとしてい 世話人 樋口 千恵

そこで、

改めてグレースホームのこの

ま

み、 終えることができました。 利用者・職員全員揃っての盛大な忘年会。 今年は道楽園での 年度のお花見は、 旅行。こうして、 楽しんだ今年度最後の行事である残留者 木更津ビューホテルにて、 かりゆったりと過ごして来ました。 たため予定を変更して、 年を振り返ってみたいと思い に泊まり、 正月には自宅に帰省しない方十三名で喜楽館 には、利用者さんお待ちかねの一泊旅行です。 お花見ドライブとなってしまいました。七月 ホームでお弁当を食べ、 年度初めの行事は、 いこいの村たてやまに宿泊し、 翌日は四季の蔵にてお土産を買 恒 風邪による静養者が多かっ 「ものまねショー」を楽し 例 恒例のお花見です。 の 元気な人達だけでの それぞれのグレー 四 グレースホームの つ の 行事を無 暮れには 温泉につ 事に Ż

来事 かし、 は 例年になく、 なんと言っても今年 利用者さんの入退 ・度の大きな出 所

ぐっと若くなり、 りました。 特別養護老人ホーム(紫苑荘) かさが増したようです。 てグレースホームでの生活を始めることとな 月に女性 (三十九歳) の計三名の方が新しい仲間とし きが多かったことです。 四月に男性(五十七歳) 名 新しい仲間によって、 新しい生活の場に移られました。 (三十四歳)、三月に女性一名 各グレースホームとも賑や (七〇歳) 七月に一 の計 へ入所のため 一名 平均年齢も 一名の方が 名 七〇

ちょっとしたトラブルになってしまうことも 数を占めることになりました。 生舎に通う人達が、 ニコニコ顔です。「みんな仲良くしましょうね ヨカデイサービスを利用している方も負けじ れぞれ仕事を終え、 きたいと思います。 にトラブルになったことも忘れて、 達の日中活動の場所は新生舎であ 新規にグレースホームの利 生き生きした生活を送っています。 一日の出来事を報告するなど、 なで安心して生活できるように努力して からも色々なことがあると思いますが、 誇らしげに作業の様子を報告するな 夕食時には美味しそうな料理を 意見のぶつかり合いから、 各グレースホームに帰っ グレースホーム全体の 用を開 新生舎でのそ 賑やかな みんな ŋ 始 また、 半新 た

> います。 でしたが、 元気で生活できていることに感謝したいと思 最後に、 なんとか乗り越えることができ、 風邪で静養する利用者さんも少な 今年の冬は例年にない厳しい寒さ みんな

# 地域活動支援センター 望みの門ヨカデイサービスセンター ヨカデイセンターの仲間

#### 管理者 橋本 順子

移られ、 練習の集大成としてアメイジング・グレイス まで守られました事を感謝しております。 神様のお支えと大勢の人達に助けられ、 楽しく過ごして頂く事を考えました。 皆さんを不安にさせまいと、 を演奏しました。 に迫られ、 その方達の思い出話は今も、 の号令係の声でヨカの一日が終わります。 たよ。」「感動したよ。」の声は本当に嬉しか 今後は地域を開拓し、 平成二十四年度は職員の異動で、 平成二十五年度の重点計画に掲げましたが 日が始まり、 昨 昨年の合同クリスマス会では、 「おはようございます。 年 現在員数九名と寂しくなりましたが 三名の方が紫苑荘やデイサービスに ヨカデイの課題となっています。 「明日の朝までさようなら。 その時の拍手や 利用者を獲得する必要 `」と元気な挨拶から とにかく日々を 続いています。 日頃の器楽 「上手だっ 利用者の そして **今** 日

り前の様に完食 している昼食 15 た 張 で す。 ŧ あ 当 目

喝采を頂いた事 て、 奏は今年のクリ 毎 が す 用者もいた程で してしまった利 喉を通らず、 スマス会に向け 日 励みとなり、 沢山の拍手 楽演 残



御夫妻に大変喜んで頂きました。 はない本物のお寿司屋さんを満喫しました。 旦那の翔太さんに握ってもらい、 その時も二曲披露し、 今年の新年会は、 いそね寿司に出 翔太さん御 夫妻、 回転寿司で 向き、

"ヨカデイズ"としていつでも出 そしてお誘いがあればどこへでも演奏に けて行きますの かリクエストが有りましたら御 で、 お声を掛けて下さい [張演奏致しま

楽しさを共有して、

幸せな時間を多くの人達

今後も音楽に親しみ、

懐かしさ、

と過ごしたいと思っています。

待ちしています。 九名十二 名 職 j 0 仲 間達は本気でお

#### 千葉県中核地域生活支援センター 君津ふくしネッ 君津ふくしネット の歩み

#### センター長 西山 信男

生・児童委員や警察との関係もケースを通じ 祉 象者横断の相談支援センター」として木更津 て深まりました。 ならない拠点になりました。 前で八年間の歩みを続け、 の多くの現場の皆さんと関係ができて、 君津ふくしネットは、 これまでにない 医療·教育、 圏域になくては 対 民 福

更津市や袖ヶ浦市との連絡調整には多くの時 ありませんでした。 なります。 感に繋がり、リピーターの相談回数に減少は、 番号を継続使用できたことが、 を費やし、 また昨年十月より、 を再構築できました。 される皆さんへの説明を繰り返してきまし 昨年四月には、 幸い長年親しんだ二五ー一一五一の電話 移転以降、 イオン富津の隣に移転し、一年に 訪問を繰り返したことで信頼関 木更津アクアビル八階から 事務所が遠くになった木 関係機関への連絡、 圏域四市の障害者虐待 ホッとしています。 利用者の安心 利 か

す。 した。 子を保護してシェルターで冷却期間を設け、係改善に努めて、家庭崩壊を防ぎました。母 始は、 父との関係修復と「絆づくり」にも係わりま 障害ある子供の保育と、介護を必要とする祖 虐待が明らかになった家族支援のため年末年 母子· 毎日家庭訪問を続け、 兄弟関係のギクシャクから身体的 母親と本人の関

あります。 を紹介する事業所が多くなって、 勢に変わりはないのですが、 協働する関係者との連携を強化して、 談者からクレームとなって還ってくることも 員の労力の割りに解決に結びつかず、 ない問題を抱えるケースは、 らの要望に沿う解決策を模索しています。 全 ての 相 相談員を励ますとともに、 談 間 合せに真 |摯に対応する姿 「中核センター」 一筋縄で解決し 時間と相談 改めて 逆に相 相談者



## こも達との春らし の門かずさの里

# 阿部ミサ子

います。 だに試行錯誤しながらの悩める日々を送って ありながら、 いう起床の誘いで、慌しい一日が始まります。 入職二年目、 朝六時、 カーテンを開き 養育の有り方については、 自身の子育て二十四年目の母で 「おはよう!」と

満たし、 ちではありますが、 います。 この時の心地よさが、 こしてスキンシップからの一日が始まるよう わけです。 上に、必ずと言っていいほど座ってい 少時代、 にと心掛けています。 て欲しいと願っています。 人ひとりを膝の上にのせます。 幼児担当 起床と共に湯のみをすする父の膝 いわば父の膝は私の特等席であった 元気な一日 里の幼い子七人にとって、 の私は、 へのスタート地点であっ それぞれの特等席として 朝一番まず、 私の行動につながって 末っ子である私は、 そして抱 できる限 ました。 順番待

の子どもも我れ先にとばかりの「一緒に寝よ 日 就寝の際は、 こその子 の声が飛び交います。 人ひとりを順番に膝の上にのせ、 のよかっ 絵本を読み終えるや否や、 た所を振り返 そんな中、 り 朝と同 今日

 $\mathbf{H}$ 

の相

談対応と緊急

時保護を実施してい

ま 祭

す。

止センターを委託され夜間、

土・日

曜

がら抱きしめ

を受けます。 との注意、 ものなら一斉に をスルーしよう 「ぎゅうは?」「忘 ているよ! かせに時を費 絵本の読み 抱きしめ 催促

もらった心地良い思いは消えないことを子 人生半ばを迎えたにもかかわらず、 日の終わりの抱きしめは、 反省をし明日への活力でもあります。 育て側が 親にし 振り

人ひとりの脳裏に映し出されることを祈り願 の関係性が心地よいものとして、 を試みながら、 ども達から学びました。 、ます。 経験を積んで生きる力になって欲しいと そして里で交わる子ども、 日々の生活の中で、一緒に学 自分の心地良い記憶 数年先、 大人と

> なりました。 頭をよぎり、 齢を経るごとに実感するように

の部分だけを読むと、風流に年月の移ろ だったと記憶しています。 というような、 もすぐにそう後悔するぞ。 うまに齢をとってしまった。 を読むと、 を読んでいるというように感じますが、 中国唐代の初期に活躍した劉廷芝 ご存知の方も多いと思いますが、 「代悲白頭翁」という作品の一節です。 題名通り、 老人の悲哀を感じさせる内容 「気づけば、 時間は無常だぞ。 若者よ、 あっとい この漢詩 (希夷 君たち 前後 0

春を迎えることになりました。 私事ではありますが、 方舟乳児園 で 四 口 目

0

まま、 のイロハ、行政とのやり取りもわからない 乳児院の存在意義、社会的使命、ケー 家庭支援専門相談員を拝命し、 諸先輩 スワー

ク

かりつつ自分

教えを授

方の助けを受

ができておら たが、 ど満足のいく やってきまし なりに懸命に ースワーク 果たして ほとん 振り返

> これでよかったのか?と常に自問自答を繰 返すばかり、 だったと感じてい 自分の力不足を痛感する三

なること、 に「一路白頭に至る」 を支えることのできる社会的養護の担い手に 自己研鑚に励み、少しでも満足できるケース なく、「歳歳年年人同じからず」を旨として て思う春の季節です。 ワークができるように努力し、子どもの笑顔 流れを悲観し後悔するだけで終わるのでは しかし、 願わくば留岡幸助氏のごとく愚直 冒頭の漢詩のように、 をならいたいと、 ただ時

学校) ある。 えられ心から感謝したい。 ることであろう。 には新卒者 ることを信じて。 として下さる方の隣人となるべく誠実に歩み 含め新しい体制での五十一年目のスタートで 生から続く望みの門の働きに新たな仲間が加 たされたイエスさまがいつも を進めていきたい。 希望と不安を胸に抱き日々の業務あたってい 新年度を迎えた。今回の新規採用職員の これからも私たちは、 が四名含まれ特に初々しさを感じる。 (専門学校、 創設者である木下ドーラ先 十字架の死から復活を果 高等学校、 施設間の異動者も 愛をもって必要 緒にいて下さ 特別支援



主任児童指導員

す ・年歳歳花相似たり 季節の節目になると自然とこの言葉が 歳歳年年人同じか